

【区への加入に対する考え】

区は、個別の長い歴史を持つ、個性豊かな自治組織だと考えます。

区への加入は、区がその機能を果たしていく上で大切なことではありませんが、強制すべきものではなく、区への未加入問題は、あくまで、区独自の取り組みの中で、解決していかなければならない事柄だと思います。

人間関係が希薄になりつつある昨今、区長さんのご苦勞は計り知れませんが、より魅力的な区づくりをし、加入の必要性を丁寧に説明、呼びかけをしていくことが重要だと考えます。

また、区への加入を意識してもらうために、各区にある「区のきまり」や「約束ごと」の中に、「区に加入することを原則とする」というような文言を加えてみるとか、「区への加入お勧め隊」のようなものを立ち上げてみるというのも、方策の一つかもしれません。

そんな努力の中で、区への理解を深め、いきいきとしたコミュニティーづくりに関わる気持ちを育ててもらえたらと思います。

強制的な加入は、加入させられたというマイナーな感覚を残すのみです。一発解決の妙薬は無く、地道な活動あるのみなのだと思います。

区に関わる情報を共有しつつ、それぞれの区にあった方法で、解決策を模索していくことが必要と思われます。